

「第3回 島の医療を考える研究会」のご案内 (オンライン開催)

この研究会は島の医療体制づくりという日本の島々の長年の命題に応えるため、島の医療に関する知見を集めることを目的に2019年1月から活動を開始いたしました。未知なる感染症の影響が国内の島々に及んでいる現状下、島の医療について現場の視点から整理し、そこでの課題を捉えていくことが急がれます。第3回は島々の感染症への対応についてご講演いただき議論していきます。今回はzoomによるオンラインでの開催となりますので、ネットワーク環境が整わない方は個別にお問い合わせください。また東京都立大学南大沢キャンパスにサテライト会場を設けますので、可能な方はぜひこちらにお越しください。

写真：瀬戸内海の朝、笠岡諸島に到着した国内唯一の診療船「済生丸」

■日時：2020年9月19日(土) 13:30~16:30

■zoom：<https://zoom.us/j/98445615417> ←このURLにアクセスください (変更になりました)

■サテライト会場：東京都立大学 南大沢キャンパス

2号館 205室 プレミアムカレッジ・ラウンジ

◎参加費は会員・非会員ともに無料です。担当までメールでお申し込みください。また会場参加を希望される方もご一報ください。

(akemi.maehata.sg@hosei.ac.jp 担当：前畑)



京王相模原線「南大沢駅」より徒歩約3分



プログラム

趣旨説明

第1部 島々のコロナウイルス感染症への対応

テーマ：「離島におけるコロナ対策(仮)」

講師：自治医科大学 看護学部

青木 さぎ里 氏

※質疑応答を行います。

第2部 全体議論

- 「離島医療施策の経緯」
- 第1回：ボトムアップによる初期対応
- 第2回：医療資源の偏在、遠隔診断(5G)の導入
島医師の育成

主催：日本島嶼学会 島の医療を考える研究部会

共催：日本島嶼学会 若手研究者ネットワーク支部

後援：島嶼コミュニティ学会

島嶼産業研究会